

第2回市民啓発部会を開催しました



○8月30日（金）に第2回市民啓発部会を開催しました。参加者は、部会メンバー6人、事務局3人、上越地域在宅医療推進センター1人の10人でした。

○今回の議題

- (1) 令和6年度に取り組むこと
- (2) 令和7年度にむけて

以上について情報共有と検討を行いました。

○部会での検討事項等

- (1) 令和6年度に取り組むこと

① 職能団体や職場単位での取組の実施状況

〈栄養士〉

- ・ 10月に栄養士会の研修の中で、ACP（人生会議）について説明する。
- ・ 令和7年1月には、職場でACPの研修（オンデマンド配信形式）を実施する。

〈特別養護老人ホーム〉

- ・ 9月にACPに関する市民向け講座の開催を企画している。

〈ケアマネジャー〉

- ・ 職場の定例会でACPについて話題提供をした。ACPは信頼関係があるからこそできることなので、日頃からの関係づくりが大切であることを共有した。

〈地域包括支援センター〉

- ・ 12月に実施予定の第3回のケアマネジャー向け研修会の中で、ACPを議題の1

つにできるか検討している。

〈薬剤師〉

- ・ 薬剤師会の理事会（9月）と若手職員向けの講話会でも話題提供を予定している。
- ・ 日頃の業務の中で、対象者への声のかけ方を工夫したり、部会で作成したACPのリーフレット（以下、リーフレット）を配布したりしている。

〈保健所〉

- ・ 11月に行う上越市人生会議サポーター研修と12月に行う上越市人生会議フォローアップ研修の際に、リーフレットを配布する予定。

② 職能団体や職場単位で実施する研修会について

- ・ 保健所が作成した資料とリーフレットを用いて研修を行う。日頃の業務と関連性がある具体例を示しながら、ACPの定義やACPを行う際に注意することについて説明する。

- ・ 研修受講後アンケートを行い、専門職におけるACPの認知度を把握する。

③ リーフレット活用の好事例の収集・周知方法について

- ・ 現時点ではリーフレット活用の好事例を収集するのは難しい。
- ・ 「リーフレットがどのようなとき（タイミングや場所）にあるとよいか」について、各委員が自身の職能団体や職場に聞き取りを行い、第3回の部会で報告する。

- (2) 令和7年度にむけて

- ・ 部会第3回目は令和7年1月実施予定。
- ・ 職能団体や職場単位での取組報告と研修受講後アンケートの集計結果の共有、効果的なリーフレットの活用方法について検討を行う。